

チーム名	こでなみ	大学・学部	大分県立芸術文化短期大学	大分ステージ
プラン名称	It is possible to "take".			
リーダー名	萱島温子	テーマ	※選択したテーマに○をつけてください。 () ①若者を惹き付ける「観光まちづくり」 (○) ②訪日外国人を惹き付ける「観光まちづくり」	事務局記入欄
指導教職員名	宮野幸岳			
メンバー名	伊南天奈、萱島温子、宮川楓、森下このみ			

1.大分県の現状・課題

- ①外国人観光客にとって温泉・地獄めぐりのイメージが強い
- ②アジア方面の外国人観光客は多く訪れているが、欧米・オセアニア諸国からの訪日外国人観光客が少ない
- ③放置されている竹林が増えている

2.調査

別府・湯布院にて外国人観光客を対象にアンケートを実施

- ・外国人観光客の約4分の1が竹細工について知っていた
- ・竹細工を知っていると答えた人は欧米人がほとんどであった
- ・竹細工を知っていると答えた人でも大分観光の目的は温泉であると答えた人が多数を占めていた
- ・竹はアジア地域には存在するがヨーロッパなどの地域には存在しないため、欧米圏の人の方が竹に興味がある
- 別府で竹細工を扱っている店舗に電話調査
- ・欧米からの観光客が少ないため、お店にあまり訪れない
- ・昔は日用品として海外に輸出されていたが、現在は美術作品として注目されている

竹を最大限に活かしたツアーの企画

3.解決策

- ①温泉の他にも大分の良いところを知ってもらい、より幅広い産業の活性化を図る
- ②現在の主力であるアジア諸国に引き続き軸足を置きつつ、欧米・オセアニア諸国を含めた訪日外国人観光客の国・地域における多様化を図る
- ③竹を使った産業を活性化させる必要がある

↓

- ・竹細工を観光客にアピールしていく
- ・欧米圏からの観光客が魅力を感じる伝統文化体験を行う

4.プラン内容

竹づくしツアー -bamboo-centric tour-

- ・竹細工製作体験
45分間の説明ののち2時間30分ほど製作体験
竹細工をお土産としての購入も可能
- ・別府の街並みを散策
竹細工を取り扱う店をめぐる際、別府駅周辺を散策
- ・昼食
たけのこを使用した食事、竹を使った弁当箱・箸で食事
- ・温泉&着付け (おみやげ可)
脱衣所のかごに竹かごを使用し、生活用品としての利用の仕方も知ってもらう
- ・浴衣を着て竹のイルミネーションを楽しむ
竹フィラントと呼ばれる電球を使用
- ・宿泊
宿泊施設に竹でつくられた日用品を完備
朝食・夕食には大分の郷土料理を提供

5.実現計画

竹細工について知っていても大分観光の目的は温泉であるという外国人観光客も多い
竹細工の体験などの詳しい情報が伝わっていない？

↓

観光産業と林家(竹林所有者)との協働体系の開拓

- ①駅・空港などで竹細工の作品やパンフレットを置く
- ②様々な施設で日用品として使ってもらう
- ③国内外問わず展示会に出席
- ④広告、SNSやインターネットサイトなどの各メディアで情報発信

6.期待される効果

- ・新たな客層の関係
比較的伝統文化に関心を持つとされている欧米人を呼び込み訪日外国人観光客の多様化・増加
- ・リピーターの創出
こだわりのある質の高い旅行で日本の良さを知ってもらいリピーターの創出
- ・竹細工文化の継承
地域ブランドの向上で竹細工職人の増加、担い手の確保
- ・付加価値の高い観光産業の実現
- ・荒廃が進んだ竹林の再生
竹製品の消費量増加で近年問題視されている竹害を減らし、竹林の再生、資源化、持続性のある産業へと発展
- ・みんなが暮らしやすい街に
近隣住民と観光客との交流が生まれ、地域の結束力が高まる



大分県と竹の可能性を広げよう！！
It is possible to "take".